

「特別支援教育コーディネーター養成研修会」兼「特別支援教育研修会」

「家庭と教育と福祉の連携について考える」

発達障がいをはじめ、障がいのある子供とその保護者に対する支援について、文部科学省と厚生労働省による「家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト」が推奨されており、本県においても「切れ目ない支援体制整備充実事業」を展開しております。その一環として今年度は、「家庭と教育と福祉の連携」について研修会を行いました。

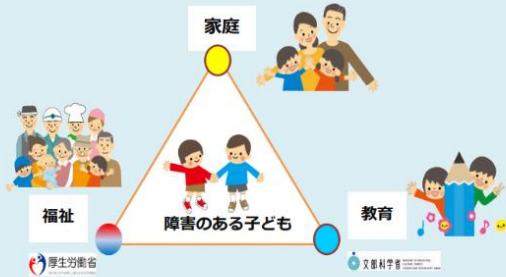
発達障がいを考える会「てんとう虫」代表加地 喜代子 氏からは「ペアレントメンターとして考える保護者支援」について話題提供いただきました。ご自身の発達障がいのある子を育てたご経験から、障がいのある子供に対して、早期発見・早期対応がいかに大切なのかということをお話いただきました。学校と保護者が連携を図り、子供の特性を踏まえ、支援の方法をともに考えていくことが必要だと教えていただきました。

NPO法人「ゆにぶろ」代表理事 伊藤 寿彦 氏からは「学校と家庭をつなぐ福祉の視点から」と題して講義いただきました。子供にとってよりよい環境をつくるためには、子供に関わる人や関係機関がそれぞれ役割を分担して支えあう必要があることをお話いただきました。また、学校や福祉、医療のそれぞれの場で、どのような支援ができるかを具体的に教えていただきました。

切れ目ない支援を行うためには、家庭や医療、福祉等の関係機関が連携しながら、長期的な視点で「個別の教育支援計画」を作成し、それを学びの場が変わっても確実に引き継いでいく必要があります。個別の教育支援計画に求められる連携とつながりには、子供の「今」をどう支援するかという「横の連携」と、乳幼児期から青年・成人期、学校教育から就労までの「縦の連携」の2つがあります。そのどちらにも、学校と保護者、学校間や学校外の教育機関との部局内連携、教育と医療・保健・福祉・労働等の部局間連携が求められます。

家庭と教育と福祉の連携 「トライアングル」プロジェクト

～障害のある子と家族をもっと元気に～



受講者の声から・・・

- ・「相手の話を聴く、辛さを共感する、労いの言葉をかける」など、学校側の心がける姿勢についても改めて自分の中で確認できました。
- ・多くの関係機関と連携をとりながら当該生徒や保護者の支援をしていきたいと考えていますが、連携する機関がどこにあり、どのようなケースに対応していただける機関なのか、また、連携するための手順がわかっておりませんでした。今回の研修ではその点を学ぶことができ、大変参考になりました。
- ・通常の学級にも特別な支援を必要としている児童がたくさんいますが、「本人の特性は変えられない」が「環境・状況は変えられること」を念頭に、児童の特性を理解し、その子にあった環境調整（支援）に努めていきたいです。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本研修はウェブ会議サービス Zoom によるオンライン研修としました。新しい生活様式の中で、新しい研修の方法で、100人を超える参加者と「家庭と教育と福祉の連携」を考える機会となりました。

GIGAスクール構想って？



既読
17:02

最近、GIGAスクール構想という言葉をよく耳にするのですが、何ですか？



Global and Innovation Gateway for Allの略です。

17:05

既読
17:06

ん？ スマホなどの通信容量のギガとは違うんですね。



国際舞台(Global)と革新的創造(Innovation)の道(Gateway)を全ての子供たちのために(for All)という意味で、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できるICT環境を実現しようというものです。

17:10



このGIGAスクール構想により、小・中学校の全児童・生徒分のタブレットが整備されます！ 置賜では今年度中に整備される予定です。

17:12

既読
17:13

え！？ 一人一台ということ！？

既読
17:13

全員タブレットを持っていればコロナ対策のリモートの授業もできますね！



コロナ禍により、急ピッチで整備を進めることになったのは事実ですが…コロナ対策ではありません。新しい時代の教育に必要な、多様な子供たち一人一人に個別最適化された学びと、創造性を育む教育を実現することが目的です。

見てほしい資料があるんです！ 下のQRコードから文部科学省の「GIGAスクール構想の実現へ」というリーフレット2ページ目を見てください。

ここがPoint!

17:18



17:18

●1週間に教室の授業でデジタル機器を利用する割合。

- ・国語⇒日本14.0% < OECD平均44.5%
- ・算数⇒日本7.8% < OECD平均37.8%
- ・理科⇒日本19.0% < OECD平均46.6%

●学校外での平日のデジタル機器の利用状況

- ・PCを使って宿題をする⇒日本3% < OECD平均22%
- ・ネット上でチャットをする⇒日本87% > OECD平均67%

日本が最下位？ 最近ICTを活用した授業をみなさんやっているように思いますが、世界の方がもっともってICTを使って授業しているんですね！

あと日本の子供たちって学習にICTを使う割合は世界平均よりかなり低いですね。あっ、ICTを使った遊びの割合は高い！



そう。このような課題からGIGAスクール構想がスタートしているのです。

17:31

既読
17:33

日本の学校はもっともって変わっていかないといけないような気がします。



そうですね。来年度に向けて、各学校の情報教育指導計画を見直してみましよう。一人一台タブレットに対応しないといけません。

文部科学省から出ている「情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントの在り方と授業デザイン」の「情報活用能力の体系表」が参考になります。QRコード送りますね。

「仙台市情報活用能力をカリマネしよう！つくろう！情報活用型授業」も参考になります。



17:39

「情報技術に関する技能」については下記のような技能が求められています。

- 小学低学年…写真撮影、ファイルの呼び出しや保存など
- 小学中学年…動画編集アプリケーションの操作など
- 小学高学年…目的に応じたアプリケーションの選択と操作など
- 中学校…クラウドを用いた共同作業など



18:01

見直してみます！今度、タブレットの活用方法教えてください！ありがとうございました！